



ど う だ ん つ つ じ



第 3 号

令和 2 年 6 月 2 6 日

“チーム智頭小”と“あいさつ日本一運動”

校 長 氏橋 俊司

校長室内のよく目につくところに、今年のスローガンを二つ掲げています。

一つは“チーム智頭小 学校・保護者・地域 みんなの力で輝く『杉っ子』を育てよう！”

もう一つは“めざそう！あいさつ日本一”です。どちらも私が皆様とともに、本気で成し遂げたいと思う目標です。

昨年ラグビーワールドカップの時にワンチームという言葉をよく耳にしましたが、皆様は「チーム」という言葉にどのような印象を持たれるでしょうか。スポーツで使われることが多いこの言葉、一人一人が目標や目的を共有し、協力して取り組むグループという意味があります。年度当初、私は本校の職員に“チーム智頭小”をさらに進めることを話しました。また、始業式では子どもたちに“チーム智頭小”として、伸びる杉っ子となるべく、諦めずに努力を重ねることを語りました。子どもたちは真剣に耳を傾けていました。

コロナ対応に追われる3ヶ月。地域や保護者の皆様と十分なお話ができないもどかしさの中で、「先生、朝の子どもたちの見守りができなくてすみません。」「ボランティアとして今年は学習に参加できそうになくて申し訳ないです。」などと、反対に地域や保護者の皆様からお詫びの声をかけていただくなど、私はたいへん恐縮するばかりです。そして、この優しさあふれる言葉に、あらためて智頭小学校教育が地域からしっかりと見守られ、支えられていることを痛感することとなりました。まさに“チーム智頭小”が、学校外にも広がっている証です。

ところで、もう一つの目標である“あいさつ日本一”について私が言い出すよりも早く、本校の高学年の子どもたちからは“あいさつ世界一”という言葉が出されていました。そして先月号でお知らせしたように、毎朝児童玄関でのあいさつ運動が行われています。先日のある日、4年生の子どもたちから今年の目標を尋ねられた際、私はあいさつについて人と人とのつきあいの中で最も大切なものの一つと答え、**あ**かるく、**い**つでも、**さ**きに、**つ**づけて、智頭小学校のすべての子どもたちがあいさつできるようになってほしいと伝えました。私は、あいさつ日本一運動と名付けた取り組みを、小学校内だけでなく中学校とともに、智頭町全体へと広げたいと本気で考えています。

将来、自分の町に誇りが持て、夢を追い続けられる子どもたち。チーム智頭小は、あいさつ日本一運動を切り口として、こうした子どもたちを皆様と共に育てていきたいと考えます。多くの皆様のチームへのご参加を、どうぞよろしくお願いいたします。

現在、本校では学校管理（草刈りや除草、植物の世話など）への、地域の皆様のご協力をお願いしています。どんな小さなことでもかまいません。子どもたちのために、手伝っていただける方は、本校岡村教頭までお知らせください。（電話 75-0044）